

東京都連盟は、35年ぶりの革新都知事誕生を願い、 宇都宮けんじ候補を応援します！

革新都知事の実現で 都民スポーツの花を咲かせよう！！

東京都連盟の各種目組織、各地域組織のみなさん

東京都知事選挙が、1月23日告示、2月9日投票で行われますが、都民スポーツの発展を願う新日本スポーツ連盟東京都連盟にとっては、都民スポーツを発展させる立場からこの都知事選挙に大いに期待をし、革新都知事候補の宇都宮健児さんを支持してこの選挙戦に臨むことを決定しました。



宇都宮健児（うつのみやけんじ）さん
日本弁護士連合会前会長（2010-11年度）
全国閣金融対策会議代表幹事
オウム真理教犯罪被害者支援機構理事長

1946年12月1日愛知県生まれ
東京大学に現役合格。社会人問題と出会い弁護士を目指すこととなる。
1968年に司法試験に合格。1971年に弁護士登録をし、1983年に宇都宮健児法律事務所を開設。後に東京市民法律事務所となる。

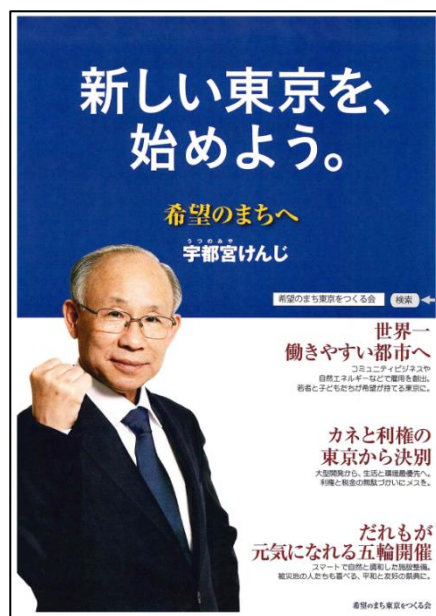
2020年の東京オリンピック・パラリンピックをどのように成功させるか、スポーツ基本法に基づいた、「人々のスポーツ権と自治体の責務」を明確にしたスポーツ行政を行うか、遅れた東京のスポーツ施設の整備計画を進めるのか、スポーツ団体の自主的な活動や多くのスポーツクラブの育成に積極的な助成を進めるのか、等々の要求に、正面から答えられるのが、都民本位の基本政策を持っている宇都宮健児候補です。

脱原発の活動や若者の就労支援など、弁護士として活動をする宇都宮健児さんだからこそ、そうした要求や問題に正面から取り組めるのです。

個人個人の投票は自由ではありますが、スポーツ団体として、スポーツを心底愛するスポーツ愛好者の集団だからこそ、革新都知事の実現に大いに期待しましょう。

保守乱立の様相の中で、宇都宮健児さんを都知事にすることは、35年ぶりのチャンスです。

みなさんには、東京のスポーツ環境の実態をよく知っていただき、変えるのは「今でしょ！」との思いで一致して、都知事選挙に臨んでいただくことをよびかけます。



都知事選に臨む宇都宮けんじさんの基本政策

- I 世界一働きやすく、くらしやすい希望のまち東京をつくります。
- II 環境重視、防災・減災重視のまち東京をつくります。
- III 原発再稼働・原発輸出を認めず、原発のない社会と経済を東京からめざします。
- IV 教育現場への押し付けをなくし、いじめのない、子どもたちが生き生きと学べる学校をつくります。
- V 安倍政権の暴走をストップし、憲法を守り、東京からアジアに平和を発信します。



<宇都宮けんじさんの特別政策>

◎オリンピック政策



- ・環境に配慮したシンプルなおリンピック・パラリンピックを実現する!!
- ・災害の被災者と原発事故の被害者に受け容れられ、アジアの平和につながる真の平和の祭典を実現する!!

◎猪瀬前都知事の問題



- ・猪瀬問題を徹底的に究明し、カネと利権の東京から訣別する!!



猪瀬前知事の裏献金疑惑の徹底解明のため都議会に百条委員会の設置を求める!!

猪瀬問題については、5千万円を受け取った意図、その背景などが解明されていません。したがって、猪瀬知事は辞職しましたが、この問題を幕引きにしてはならず、徹底的な究明が必要です。しかも猪瀬知事が金を受け取った相手方は東京都が許認可権限を持っている徳洲会という医療法人です。東京都が利権やカネの問題と決別するクリーンな都政をめざします。都議会に疑惑解明のための百条委員会の設置を要請したいと考えています。



宇都宮けんじさんの「東京オリンピック・パラリンピック」についての見解

- ① 東京オリンピック・パラリンピックが、東日本大震災の被災者、福島原発事故の被害者の方からも歓迎されるオリンピックにしなければならないということです。そのためには被災者・被害者の救済、生活再建を急ぐ必要があります。さらには汚染水の処理問題と福島原発事故の早期収束をはかる必要があります。
- ② オリンピックは平和と友好の祭典ですから平和的な環境をつくりだす必要があります。そのために私が都知事になったら、東京・北京・ソウルの平和都市会議を開催したいと思っています。最近の安倍政権の政策によって韓国や中国との関係が悪化していますが、私は自治体外交を通じて平和的な環境をつくりだし、東京から平和のメッセージを発することによって東京オリンピックを成功させたいと考えています。
- ③ シンプルで環境に配慮したオリンピックにしなければならないということです。新国立競技場建設計画と、葛西臨海公園のカヌー競技場計画については見直します。
- ④ オリンピックと同時にされるパラリンピックの成功を重視します。パラリンピックを成功させるにはバリアフリーやユニバーサルデザインの推進に力を入れて、障害者を含めて本当にすべての人が住みやすいまちをつくるのが重要です。

革新都知事誕生で充実したスポーツ施設を!!

石原・猪瀬都政下で都民のためのスポーツ施設が減少!!

イベントスポーツばかりに目を向け、都民スポーツには冷たい都政。12年間に都立施設が27か所減り、しかも人口100万人当たりの施設数は全国最下位!! また東京都はスポーツ振興局を改組しオリンピック・パラリンピック準備局としました。これは都民スポーツ軽視の表れです。

(都内施設数)

	国立	都立	区市町村立	合計
2010年	16	178	1754	1961
2012年	10	151	1745	1906



	社会体育施設数 (人口100万人当たり)		体育館数 (人口100万人当たり)		多目的運動広場数 (人口100万人当たり)	
	箇所	順位	箇所	順位	箇所	順位
全国	374.2		53.3		55.5	
神奈川県	173.1	45	27.9	43	30.2	45
大阪府	129.2	47	20.2	46	19.8	46
東京都	157.1	46	16.6	47	8.7	47

革新都知事誕生で都民のためのスポーツ政策を実現させましょう!!

東京都連盟の地域組織と種目組織から、宇都宮けんじさんが都知事になったら叶えてほしいことや訴え、東京のスポーツ環境の現状など、みなさんの想いと声を聞きました。

- スポーツ振興局を復活させて下さい。スポーツ愛好者のための局が無いのはおかしいと思います。2020年オリンピック・パラリンピック準備局しかないなんて信じられません。(東京都連盟理事・小林)
- 新日本スポーツ連盟が今まで長きに渡り要求してきたことを是非取り上げてほしい。(東京スキー協)
- まず、2020年東京オリンピックは、他国に譲ってください。インドのムンバイ、トルコのイスタンブール、エジプトのカイロなどが良いと思います。東京やロンドンは前に開催しているのでやらなくても良いです。そして、今まで蓄積したオリンピック予算の半分を譲った国に資金援助として差し上げて、残りの半分で東京の貧しいスポーツ施設を2倍に増やしてほしいです。それでもやっと他県並みの施設数(人口比)になります。(東京バド協)
- いつでも、どこでも、だれもがスポーツを出来るように、スポーツ施設の充実をお願いします。平和、友好、環境の取り組みを未来に残し、託せる運動を。(板橋区連盟)
- 東京都連盟がスポーツから都民生活まで政策発表した宇都宮健児さんを支援するとしました、全面的賛成します。精一杯応援します、会員と一緒に支持を広げたいと思います。醜態をさらした前猪瀬直樹都知事辞任による知事選挙が間もなく告示日を迎えます。前回は、少なくとも猪瀬氏に400万人の都民が投票した訳ですが、都民の代表にふさわしくない形で幕を閉じました。そして、その前職の石原慎太郎知事も、都政を途中で投げ出してしまった。今度は2020年東京オリンピックを新鮮な都知事と一緒に作りませんか。(東京ウォーキングクラブ)
- 「いつでも どこでも だれもがスポーツを」は、私たちがかけがえる目標です。水泳を続けている私には、こどもから高齢者まで安心して使えるプールは障害者にもやさしい、誰でも安心して使える施設です。宇都宮さんが知事になったら、第一に施設を増やしてほしい。たとえば、都立障害者スポーツ施設は二カ所しかありません。せめてもう二カ所は必要です。みんな遠すぎて行かれず、使えないのでから。第二には、スポーツ施設利用料金を適切な値段にしてほしい。高額では誰もが使用することができないのです。(東京水泳協議会)
- オリンピック・パラリンピックを開催するからには、だれからも支持されるように、政治主導ではなく、都民の声、日本の声をたくさん取り入れて、世界一すばらしいオリンピック・パラリンピックとなるよう取り組んで下さい。(東京都連盟理事・細野)
- 革新都政時代、スポーツ連盟のスポーツ祭典には50万円の補助金がありました。石原・猪瀬都政では都民スポーツ発展に大きく貢献しているスポーツ祭典への補助金を、すっかり削り、スポーツ施設も減らすなど、都民スポーツの振興は切り捨て。企業が儲かるイベントスポーツは盛んに行いました。革新都知事誕生で、以前のような都民目線のスポーツ政策に期待します。(東京都連盟理事・宮内)
- 宇都宮さんに都知事になって欲しい！だってね、東京都とは、これまで何度となく折衝をしてきましたよ。一つは、「スポーツ施設が足りない」という声が多く、都内の公共スポーツ施設が少ないこと、日常的なスポーツ活動に支障がでていることを訴え続けました。東京都は、「民間のジムとかスポーツ施設はたくさんあるから、スポーツ施設はある」「東京都と市区町村の施設は、役割が違うから、施設を作るというのは市区町村で決めるもの」といって、全く受け入れる姿勢がない。全国スポーツ祭典や東京スポーツ祭典への補助金は、かつて革新都政時代に200万円と50万円が出されていたが、今ではゼロになってしまう。BumBの利用料金の不当な取り扱いについても、生涯スポーツ活動を営利事業とみなすなど、ありえないことが起こっている。これらを、どうしても是正させなければ、都民スポーツを願う多くの人の期待に応えられないですよ。宇都宮さんに必ず都知事になって欲しいので、頑張りましょう。(東京都連盟理事長・萩原)